



機能満載のワープロが
インターネットマシンに変身

S E M I N A R

ワープロで 「できる」 インターネット

TEXT 編集部

Photo : Tohru Nakamura

いま話題のインターネットをやりたいけれどもパソコンは苦手。友人に相談しても「できるWindows95」や「できるインターネット」を渡されてしまう。「なんだ、やっぱりパソコンユーザーだけの世界じゃないか」と思っているあなた、本当にパソコンが使えないとインターネットができないと諦めているのでしょうか。インターネットは現代の情報化社会には欠かせないものとなりました。おかげで身の回りにもインターネットができる家電が増えました。家族みんなで使えて、インターネットの接続が簡単。そしてパソコンのようにプリンターやソフト、周辺機器をそろえる必要がなく、手頃な値段で買えるものはないのでしょうか？もしあるとしたらそれはワープロかもしれません。シールプリントや年賀状が作れて、しかもカラーで印刷ができるインターネットマシンなんて素敵だと思いませんか。



多機能ワープロが インターネットに対応

インターネットをするにはパーソナルコンピュータが必需品。これは今の常識ですが、最近では身近な家電でインターネットを利用しようという動きもあり、パソコン以外でもインターネットが楽しめる家電がいろいろと登場してきました。インターネットTVや、ゲーム機で知られるセガサターン、テレビと接続するi-BOXやカラオケもできるMediaBOXなどです。しかし、こここのところ、量販店や電気店で気になるのが「インターネット」を売にした日本語ワードプロセッサ（通称ワープロ）。ひと昔前はその操作性と印字の美しさに、文豪や書院というマシンが絶大な人気を博していました。ことワープロソフトに関しては「パソコンもやっとなワープロ並みになった」なんていわれた時代もあるのです。いまもワープロの愛用者は多く、主婦や中高年には結構これが根強い人気。そんなワープロは以前からパソコン通信の世界ではポピュラーに使われてましたが、ブラウザというインターネットのホームページを見るソフトは使えませんでした。しかし、昨今のインターネットブームのおかげで、家電各社のワープロも続々とインターネット対応になりました。パソコンがいまいち苦手という人やオフィスのマシンがワープロという方もこれならインターネットができますね。

家族で使えて 簡単操作がイケてるワープロ

ところで、せっかく高いお金を払ってコンピュータを買ってもインターネットに接続できないという話をよく聞きます。ウィンドウズやマッキントッシュなどコンピュータの知識がない人にとってインターネットの接続設定は今に高い壁。確かにいるんながができるのがパソコン。ですから設定にもある程度の知識と手間がかかります。インターネットに接続するためのさまざまなネットワークの設定や、ネットスケープナビゲーター、インターネットエクスプローラといわれる、ホームページを見るためのブラウザや、電子メールソフトの設定は、慣れない人にはとても苦痛な作業です。ワープロ

の売りはコンピュータに比べてインターネットに接続する通信の設定が簡単だということ。機種によっては画面にあるアイコンを指やペンでタッチしていきただけでインターネット接続会社への入会を済ませてくれるので、これといった知識がなくてもすぐにインターネットが楽しめます。パソコンでは通常必要なソフトを組み込むインストールという作業をするのですが、ワープロであればそんな作業も必要ありません。ホームページを見ると、電子メールを読むときで、それぞれのフロッピーディスク（以降FDと略）を入れ替えればOK。簡単操作が売りのワープロならではの機能です。

高速33.6Kbpsモデム内蔵の マルチメディアマシン

ところで、最近のワープロは郵便番号7桁対応とか、お絵かきに表計算、年賀状作成ができるくらいではありません。インターネットができるワープロは基本的には各社とも上位機種で、さまざまな機能が1つの本体に凝縮されています。例えば400dpiの昇華型熱転写式のカラープリンター装備なんてあたりまえ。カラー Scanner、OCRというスキャンしたページをワープロに記憶させてくれる機能を搭載したものや、今流行のシールプリント（プリクラのようなものです）やデジタルカメラ画像の入力ができたり、極めつけはビデオ入力可能な機種でしょう。それでいて値段はお手ごろ。量販店では10万～16万円ほどで販売されてます。通信関係のほうも充実していて、モデムの通信速度も最新型の33.6Kbpsから今ではちょっと旧



気に入ったホームページのカラーコピーも簡単。
撮影協力 明治記念館

型の14.4Kbpsのものが内蔵されていますが、やっぱり買うなら33.6Kbpsがおすすめ。通信速度が速ければ電話代の節約にもなりますし、14.4Kbpsと33.6Kbpsではスピードが2倍以上も違います。もちろんパソコン通信やFAXの送受信もできます（オプションで外付けのモデムが使えるタイプもあります）。いくらパソコンが安くなったとはいえ、モデムやプリンター、Scannerを揃えたらこの値段ではおさまりません。また、インターネットでしか手に入らない季節限定の画像データやビジネス文例集などがホームページにあるのもワープロならではの。暑中見舞いや年賀状シーズンには嬉しいサービスです。さて、ワープロがここにきて急速に高性能化したことはおわかりいただけたと思います。次のページからは本題であるインターネット機能を紹介しましょう。



ワープロマシンのインターネットの実力

操作性は機種で違う
使いやすいマシンを選ぼう

インターネットでネットサーフィンをするのにはブラウザといわれるビューアソフトが必要です。パソコンでいわれる「ネットスケープナビゲーター」や「インターネットエクスプローラ」といわれるもので、インターネット関係の雑誌には必ずこの名前が出てきます。これらのブラウザソフトはパソコンを前提に開発されたソフトなので残念ながらワープロでは使えません。電子メールのソフトで有名なEudoraもワープロで使えるものではありません。しかし、家電各社で独自のブラウザソフトやメールソフトが開発されたので、ワープロでもホームページを見たり、インターネットでの電子メールのやりとりができるようになりました。各社のブラウザの実力は、インターネットがブームになりだした2年ほど前のものと同等です。いまパソコンで使われている流行のフレームやスタイルシート、JAVAのプログラムなどで作られたページや動画、音声の付いたホームページは見られませんが、文字ベース（テキストといいますが）のページが用意されているホームページも多くあり、無料で自由に閲覧できます。世界中にある貴重なデータやニュースを誰よりも早く入手したり、電子メールで海外の友達と情報を交換したり、楽しい使い道を生かすも殺すもあなたの腕次第です。

ブラウザ機能も Simple is Best

ところでワープロのブラウザ機能ですが「ページ送り」（ページを進める）、「開く」（指定したアドレスのホームページに飛ぶ）、「ブックマーク」（お気に入りの登録）、「再読み込み」（再度アクセスする）、「スクロール」（ホームページの画面を上下させる）、「検索」（見たいホ

ームページを探してくれるページに行く）、「中止」（データの読み込みを中止する）など、コンピュータで使われているブラウザとほぼ同じ機能が装備されています。「ブックマーク」が「しおり」など親しみやすい名称になっているブラウザもあります。機種によっては「翻訳」というアイコンが埋め込まれているものもあり、ボタンを押すだけで自動的に英語のページを日本語に翻訳してくれるので、英語が苦手な人にはとても役立ちます。当然パソコンにも翻訳ソフトはありますが、後付けになるためソフト代として約1万円はかかります。シャープのセリエには「E/J」というパソコン用としても販売されているソフトがあらかじめ組み込まれています。翻訳機能がネットスケープナビゲーターやインターネットエクスプローラに導入されたらパソコンユーザーは大喜びでしょう。また、NECの文豪JX-55ではデジタルカメラで取り込んだ画像をワープロで加工するだけで、オリジナルのホームページを作ることができます。

ワープロ用ホームページから ネットサーフィンに出発

ところで、最近はホームページ作成テクニックが進歩したために「このページはネットスケープ3.0やインターネットエクスプローラ3.0以上で見てください」という断りのあるホームページも多くなりました。そういうページはワープロだと画像が正しく表示されません。しかし、各社のホームページにはワープロ向けのホームページが用意されています。「おすすめページ」や「検索ページ」など新聞社からお料理のレシピまで生活に役立つホームページが用意されているので、まずはそこにアクセスするのがベスト。ワープロ各社では最新情報のほかにビジネス文例集や季節のイラスト集などのデータを用



ワープロのブラウザやメールソフトはFDに収められている。

意しているので、FDにお気に入りのデータをどんどんダウンロードするのもよいでしょう。インターネットでしか手に入らない季節のイラストをはがきにプリントしたりするのも楽しいですね。ネットサーフィンの前にワープロのホームページをチェックしてからでかけるのがよいでしょう。

メールソフトは実用重視 電話代も節約タイプ

パソコンは、ソフトやデータがハードディスクといわれる大容量の記憶装置に記録されていて、必要な時に立ち上がって使用できるのですが、ワープロは違います。システムやアプリケーションはFDで起動できるように設計されているので、ワープロとして使うときは文書フロッピーを、通信のときにはブラウザソフトやメールソフト用の通信システムディスクを使用します。用途によってFDを交換するのは電話代の節約にはなりますがちょっと不便。パソコンだと回線を接続したまま作業しがちですが、ワープロの場合はネットサーフィン中にメールを出す時は一度接続を切ってから、電子メール用の通信FDを入れて再度接続をします。機種によってはメールの送受信ごとに回線を自動的に切断してくれるものもあります。ワープロで

ブラウザ表示テスト

ワープロのブラウザの表示能力は各社で違うようだ。以下はZDnet (<http://www.zdnet.com>)にアクセスしたときの画面だが、表示されない部分が各社で違う。



シャープのSuper書院 セリエ MR-1。ほぼ完全に表示されている。



富士通のオアシス marriott PLUS 右下部分のテキスト部分が表示されていない



東芝のルボV855 かなり待ったが画像が表示されない部分が見えたとおり。でも文字は読める。



インターネットをする場合はネットサーフィンと電子メールは別作業とわりきっておきましょう。電子メールのソフトはパソコンで使われているものよりも簡略化され実用的な機能だけに絞られています。基本的には文書（テキスト）の送受信がメインで、署名（自動的に名前を付けてくれる）、検索、アドレス帳機能以外の、パソコンでよく使われているメールを振り分けて保存する機能や画像のファイルを添付して送信する機能はありません。各社のブラウザやメールソフトが違うので店に行ったらこらへんをチェックするのがポイントですね。

タッチの差でワープロ ファンクションキーでらくらく操作

キーボード操作が苦手な人にとって、パソコンのマウス操作は簡単かと言うと必ずしもそうではないようです。マウスのクリックやポインターという画面上の矢印を操作するにも練習が必要。笑い話ですが、マウスがマウスパッドから外れてしまって「もう動かせない!」とか、「ポインターを画面の上に持って行って」といわれてマウスをモニターの上に載ったという話も聞きます。最近のワープロは極力キーボードの操作を簡略化しているので、ペンタッチや指タッチでプログラムを実行することができます。動かしたいプログラムのアイコンを指でタッチすればOKという操作感覚は誰でも使える親しみやすい機能です。また、東芝のルポやシャープのセリエなどはホームページの主な機能がファンクションキーといわれる上段のF1～F10のボタンにも割り当てられているので、ワンプッシュで操作できます。

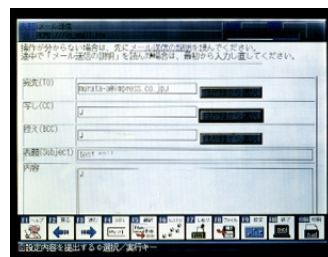
インターネットで メールを活用する

ワープロでもインターネットができることはわかっていただけたと思いますが、その機能を活かすとしたら、やはり電子メールを活用することでしょう。ニフティサーブなどのパソコン通信はとても人気で、多くの利用者がメールで情報を交換しています（パソコン通信は別名パソコンワープロ通信ともいわれています）。ワープロがインターネット対応になったことで、メールもさらに便利になったといえるでしょう。ソフト自体の機能はブラウザと同じく各社で違います。アドレス帳機能や、検索、置換、転送、送信予約、メールをサーバーに置いてお

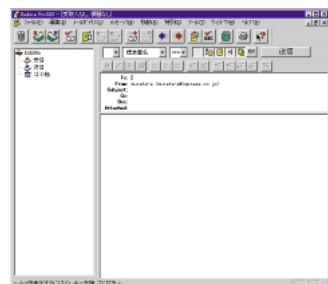
く設定ができる機種もありますが、ほとんどは送受信がメインの使いやすさに重点を置いた設計になっています。また、機種によって、電子メールに半角文字が使えるものと使えないものがあるので、購入の際には確認をおすすめします。パソコン通信とインターネットの両方でメールが活用できる利点を活かして、会社や友達とメールのやりとりをするのもイケてますよね。



ペンや指で画面をタッチしていけばインターネットに接続できる。



東芝ルポV855のメール画面。自分のサインも自動的に付けられる。



パソコンでは有名なメールソフトEUDORA PRO 3.0の画面。

ホームページの表示時間テスト

モデムの通信スピードが速くても、画面表示が遅いのはブラウザソフトの違いによるようだ。接続先はインプレス。
URL <http://www.impress.co.jp/>



機種名	モデム通信速度
富士通 オアシスmariotto PLUS	
59秒	33.6Kbps
シャープ スーパー書院 セリエ MR-1	
1分45秒	28.8Kbps
東芝 ルポ V855	
4分28秒	33.6Kbps

使えるアイデアが満載各社のインターネット機能

今回は通信速度が高速の28.8Kbps以上のモデムを内蔵したワープロの人気機種3つを編集部が選び、実際に試してみました。

シャープ スーパー書院 MR-1 セリエ

ワープロを超えた
高速32bitCPUマシン！

シャープの書院といえば、NECの文豪とワープロ全盛期を築いた名機です。このセリエの特徴はワープロの域を超えたマルチプロセッサということ。つまり、32bitのパソコンなみの処理能力をもつCPUと大容量のハードディスクを内蔵した点です。ビデオ画像の入力からカラー印刷、スキャナー機能、英日翻訳支

援機能や、電子手帳ザウルスとのデータ交換もできる機能の高さはワープロの中でも群を抜いています。

ペンタッチ&オフラインブラウジング
&翻訳ができる

インターネット接続が初めての人はInfoWebへのオンラインサインアップ（入会申込み）画面をペンでタッチしてOKという優しい設計。ブラウザーの特徴はオフラインブラウジングという電話回線を切った後にホームページが見られる機能もあるので、接続時に見たいページをマークしておけば、回線を切ったあともページを閲覧できます。



定価 26万円/実勢価格 約15万円

これを使えば多少は電話代の節約ができます。また、セリエには「E/J」という翻訳ソフトが内蔵されているので英語のページを見るときにも結構役に立ちます。また、電子メールソフトに書院で作ったテキストを添付して送付することもできます。



SHOIN/SERIE PLAZA
URL <http://www.sharp.co.jp/shoin/>

インターネット機能一覧

項目	機能
アニメーションの表示ができるか	×
ホームページの画像が保存できるか	○
メールの保存先	内蔵ハードディスクおよびMS-DOS形式FD
メールソフトのアドレス帳機能	○（住所録と連動）
メールの形式	MIME（注1）
通信用ディスク	ブラウザー用メール用FD各1枚
モデム	内蔵28.8Kbps
翻訳ソフト（日英）	有り
入力方法	キーボードもしくはペン入力
インターネットに接続しないでもホームページが見られるか	○
あらかじめ設定されている入会先プロバイダー	InfoWeb
ホームページの印刷	○
FAX送信、パソコン通信	○
デジタルカメラからの画像入力	○

（ビデオカメラやザウルスからの入力も可）

注1 電子メールの標準形式で漢字や画像、音も転送できる

東芝 ルポ V855

ワンタッチでインターネットに！
翻訳ソフトと大画面がやさしい

東芝ルポV855の特徴は何といっても見やすい11.3型のDSTNカラー液晶の大画面とファンクションキーの隣にあるインターネットキー。パソコンのキーボードにも欲しいこのボタンをワンタッチするだけでインターネットへの接続ができます。ブラウザーやメールソフトは通信システムソフトという1枚のFDで起動します。ブラウザーソフトの特徴はシャープのセリエと同じく翻訳ソフトが搭載されているところ。海外のホームページを見るときに英語を訳してくれるのでとても便利。しかし、何ページも訳したい場合は少々時間がかかります。本体に内蔵されて

いるモデムは高速の33.6Kbpsモデム。また、ホームページもカラーでプリントアウトできます。初心者向けにオフラインでインターネットのレッスンがあったりしてインターネット入門者にはとても親切な設計です。

画面表示に時間がかかる
ページもあるけれど...

モデムの通信速度が33.6Kbpsと高速であっても、なかなか表示できないページもあるようです。たとえばイメージ画像が二十個以上もあるホームページは要注意。実際にインプレスのようにイメージ画像が20数個もあるホームページでは表示までになんと約4分28秒もかかってしまいました。通信速度だけでなく、画面を表示させるブラウザーの処理能力も関係しているようです。



RUPO MAGAZINE
URL <http://www.toshiba.co.jp/ruipo/>



定価 オープン価格/実勢価格 12万円

インターネット機能一覧

項目	機能
アニメーションの表示ができるか	○
ホームページが保存できるか	○
メールの保存	MS-DOS形式FD
メールソフトのアドレス帳機能	○
メールの形式	MIME（注1）
通信ソフト	通信システムFD1枚
モデム	内蔵33.6Kbps
翻訳ソフト（英日）	有り
入力方法	キーボード
インターネットに接続しないでもホームページが見られるか	○
あらかじめ設定されている入会先プロバイダー	People infopepper
ホームページの印刷	○
FAX送信、パソコン通信	○
デジタルカメラからの画像入力	○

（要専用デジタルカメラ画像読み出しソフトとインターフェイスセット）

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

富士通 オアシス mariott PLUS

指タッチでインターネット
メール機能も充実!

富士通といえば「タッチおじさん」が話題ですが、オアシス mariott PLUSも指で画面のアイコンをタッチしてゆきだけで、インターネット接続ができるワープロです。32bitのCPU搭載により、他社のマシンに比べても画面表示はかなり速い感じがします。再接続が簡単なリアルタイム機能はパソコンにはないユニークな機能です。画像のデータをメールに付けて送ること

はできませんが、メールの転送、検索、置換、メールの送信予約(1度に10か所)の機能や、メールをプロバイダーに残すか否かなどの細かい設定もできます。また「OASYS World」から画像データやビジネス文例集などをダウンロードしてFDに保存し、ワープロに貼り付けることもできます。

ブラウザーソフトの
バージョンアップができる

オアシス mariott PLUSの優れた点は、インターネットに接続する通信システムが本体に内蔵されているフラッシュメモリーに書き込めること。これによってブラウザーの起動も速くなり、かつソフトのバージョンアップにも対応できます。また、メールとブラウザーを使い分けるときでもいちいちFDを差し



定価 24万円/実勢価格 14万8000円

換える必要がないので、すばやく、快適にインターネットにアクセスできます。

インターネット機能一覧

項目	機能
アニメーションの表示ができるか	×
ホームページが保存できるか	○
メールの保存	MS-DOS形式FD
メールソフトのアドレス帳機能	○
メールの形式	MIME (注1)
通信ソフト	ブラウザーソフト、メールソフトFD各1枚
モデム	内蔵 33.6Kbps
翻訳ソフト (英日)	×
入力方法	キーボード 指およびペンタッチ方式
インターネットに接続しないでもホームページが見れるか	×
あらかじめ設定されている入会先プロバイダー	Infoweb
ホームページの印刷	○ (FDに保存後)
FAX送信、パソコン通信	○
デジタルカメラからの画像入力	○ (要専用PCカード)



OASYS WORLD

URL <http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/oasysworld/index.html>

その他のインターネット対応 ワードプロセッサ

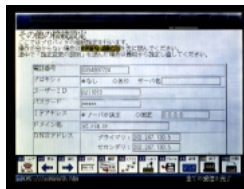
富士通株式会社 オアシス LX-4500NT PLUS
モデム内蔵 (33.6Kbps)
ブラウザー、電子メール機能有り
あらかじめ設定されているプロバイダーはInfoWeb

NEC 文豪 JX-55MA
モデム内蔵 (14.4Kbps)
ブラウザー、電子メール機能有り
あらかじめ設定されているプロバイダーはBIGLOBE

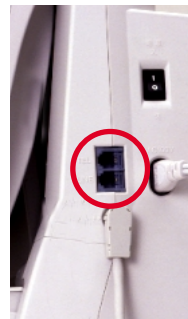
シャープ株式会社 WD-M700
モデムは別売りモデムカード (33.6Kbps) ブラウザー、電子メール機能有り
あらかじめ設定されているプロバイダーはInfoWeb

通信設定だってらくらく

すでにプロバイダーに加入している場合は通信設定をしなくてもいいですが、ワープロはパソコンと違って、各社とも設定項目が少なく簡単に設計されています。



東芝ルポ V 855の
通信設定画面



ワープロの通信ポートは通常TELとLINEの2つが用意されているので、TEL側を電話機に、LINE側をモジュラーにつなげば接続終了。

まとめ

いかがでしたか、ワープロならマニュアルで頭を悩ますことなくインターネットがすぐに楽しめそうです。パソコンが苦手な人もちょっと安心していただけたと思います。もし、ワープロでのインターネットが満足できなくなってきたときには頑張ってパソコンを覚える必要がありますが、メールや簡単なネットサーフィンに利用するぐらいであれば、家族みんなで使えるワープロがよいかもしれません。通信機能以外にも魅力ある機能が満載されているのでお得だと思います。

後継機種が続々登場!

シャープ書院
「セリエ」

<MR-2>
書院「セリエ」
<MR-2>はこの記事で紹介した<MR-1>の後継機だが、大きく見やすい業界最大の12.1型カラー

液晶を採用したほか、高速33.6Kbpsモデムや大容量ハードディスクも内蔵。フレームに対応したブラウザー搭載により、数多くのホームページが閲覧できる。また、メールに画像データを添付してパソコンとのメールの送受信ができるスグレものだ。
9月26日発売。標準価格28万円。

東芝ルポ V865
デジタルカメラや携帯情報端末で使われている記憶媒体の「スマートメディア」スロットルを搭載したV855の後継機が登場。業界最高レベルの235万画のハイパーAI

辞書で文字変換もらくらく。名刺や名簿も読み込めるマルチOCR機能もある。従来のモデムやブラウザーのインターネット機能はそのままにますますグレードアップ。
10月中旬発売。標準価格23万円。

[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレス R&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp